

戦争は なくならないの？

考えてみよう
戦争と平和



全世界を震撼^{しんかん}させている、中東のテロ組織「イスラム国」による外国人殺害事件。今年、ついに日本人2人が犠牲になりました。中東エリアでいま何が起きているのか？そもそもこの混乱の原因は何？いまこそ考えてみたい、戦争と平和。

あの悲劇はなぜ起こってしまったの？

Y319ア

『中東から世界が見える』

(岩波ジュニア新書) 酒井 啓子／著 岩波書店

混乱し、テロや内戦が続く中東。なぜこんなことになってしまったのか？「外圧」「宗教」そして「若者」の3つをカギに、中東問題の「現在」を読み解く。

Y312チ

『あたらしい戦争ってなんだろう？』

山中 恒、山中 典子／共著 理論社

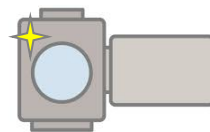
「テロとの闘い」をめざすアメリカの「あたらしい戦争」。しかしイラク攻撃は、世界中の多くの反対を押し切って進められた。疑問の多い「イラク戦争」を本質から解き明かす、入門的戦争論。

Y311ボ

『暴力はいけないことだと誰もがいうけれど』

萱野 稔人／著 河出書房新社

みんな「暴力はいけない」と言うのに、なぜ暴力はなくなるしないの？そんな疑問から見えてくる国家、社会の本質と正しいつき合い方。



伝える
使命

Y319セ

『戦争を止めたい』(岩波ジュニア新書) 豊田 直巳／著 岩波書店

自らの生命の危険にさらされながら、世界の紛争地に飛び込み、取材を続けてきたフォトジャーナリスト。目の前で繰り広げられている暴力、破壊、殺人に、ジャーナリストとして何ができるのか、写真で何が変わえられるのか。怒り、悲しみ、悩みながら、そこに生きる人々の願いを写真に託し、平和を願う。

Y933 ポ

『ぼくたちの砦』

エリザベス・レアード／作 評論社

「サッカー場をつくろう、ぼくたちの居場所をつくるんだ」。イスラエル占領下のパレスチナの町に暮らしながら、決して希望をなくさない少年たち。「いつか自由を」と願いながら。



シエラレオネ

『両手を奪われても』

マリアトゥ・カマラ、スーザン・マククリーランド／共著 汐文社

「私には両手がない。でも、声がある」。20世紀でもっとも残酷な戦争の1つ・シエラレオネ内戦で難民になった12歳の少女が、ユニセフ代表として声をあげるまでを告白したノンフィクション。

Y936 リ

平和を願って

Y319 サ

『さよなら紛争』

伊勢崎 賢治／著 河出書房新社

「平和」をもっと広告しなければ、戦争は終わらない。利用される少年兵、悲惨な殺りく、国家の破たん。泥沼化した現場で紛争解決を指揮してきた著者による、新しい平和構築法。



『奇跡のプレイボール』

大社 充／著 金の星社

「武器の代わりにバットとグローブを！」。かつて太平洋戦争を戦い合った日米の元兵士たちが、60年の時を経てハワイに集い、行った日米対抗野球。戦争とは何か、平和とは何かを問う、奇跡のプロジェクト。

Y319 キ

Y319 セ

『戦争をしなくてすむ世界をつくる30の方法』

田中 優／ほか編 合同出版

ただ「祈る」だけでない「平和」とのつき合い方、「戦争反対」を叫ぶ以外にある「平和」との向き合い方とは？ さまざまな立場の人が、さまざまな現場で実践している30の方法。

過去

の戦争を考える



Y210 ア

『綾瀬はるか「戦争」を聞く』
(岩波ジュニア新書)

TBS テレビ『NEWS23』取材班／編 岩波書店

広島出身の女優・綾瀬はるかが、原爆被爆者や沖縄戦体験者のもとを訪ねる。つらい戦争の記憶…いま語り継ぐべき、大切な記録。

Y726 テ

『手塚治虫「戦争漫画」傑作選 1・2』

手塚 治虫／作 祥伝社

後世にのこる数々の名作を描いた「漫画の神様」手塚治虫の作品から、「戦争」をテーマにした傑作・問題作を選びすぐる。

Y943 ベ

『ベルリン 1919／1933／1945』

クラウス・コルドン／作 理論社

ぼくたちは、なぜ争いをやめられないのだろう？ ドイツ文学界の巨星・コルドンが、ベルリンを舞台に激動の20世紀を描き、戦争と平和を現代に問う大河小説3部作。

担当者より

「イスラム国怖い」「テロはかんべんしてほしい」と本気で思いながらも、本気で平和について考えることは、㊦にとってなかなか難しいことのように。生命の危機にさらされることのない平和な日本で暮らせることに、あらためて感謝です。 ㊦